

会社情報:

社名
MAYA MEXICO

本社所在地
Av Tulum S/N, capilla ecumenica,
PLAZA MEXICO, 77500 Cancún, Q.R.

TEL
+52 (998) 980 - 3310

営業時間
月曜～金曜 09 : 00-18 : 00
土曜 09 : 00-13 : 00
日曜・祝日 店休



MAYA MEXICO Activity Report

2024



メキシコの未来をつくる

はじめに

2020年から始動したマヤメキシコも、5年目に突入となりました。この5年間、多くの方のご支援と関わりがありここまでプロジェクトを続けることができたと感じております。

5年目に突入するという節目を機に、ここまでやってきたことを一冊のアクティビティレポートとしてまとめ、振り返り、今後に活かそうと思い本冊子を作成いたしました。本冊子を手にとってくださった皆様には、ぜひ最後まで読んでいただけますと幸いです。

ここまで支えてくださった皆さま、大変ありがとうございました。そしてこれからもマヤメキシコは成長を続けて参りますのでよろしくお願いいたします。



ご挨拶



相原
創設者

いつもご愛顧いただき、ありがとうございます。

早いもので、立ち上げからもう5年が経ちました。当初は小さかった子どもたちも、今では大きく成長し、刺繍グループの一員として活躍するようになりました。本当にあっという間の時間でした。また、女性たちの自立心も芽生え、自ら新しいデザインを考案したり、作業分担を整えたりする姿が見られるようになり、チームワークを大切に考える視点が培われてきたと感じています。

さらに、日本から来てくださるインターン生の活躍が、この活動を支えていると言っても過言ではありません。今後も、多くの皆様に応援していただけるような活動にしていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



八尾
店長

Hola! 店長の八尾です！私は学生時代にメキシコに留学したことがきっかけでメキシコの虜になりました。また同時にメキシコの問題を目にし、ずっと何か役に立ちたいと思っていました。そんな時にマヤメキシコの立ち上げプロジェクトに出会い、居ても立っても居られなくなり相原さんに連絡したのが始まりです。

そこからメキシコに渡航し、相原さんとともにマヤメキシコを育てています。今までたくさんの困難な状況がありましたが、何とか切り抜けて現在の形になっています。

まだまだ成長途中の私たちですが、温かく見守っていただけますと幸いです。

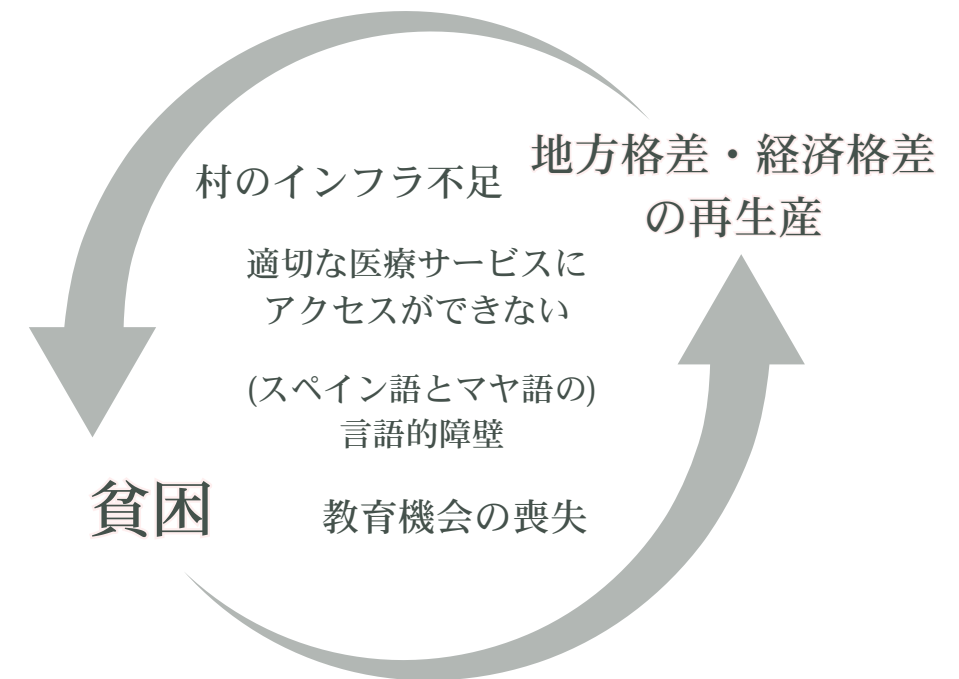
沿革

マヤ刺繍を通して、 伝統文化の継承と生活の向上を実現する

マヤメキシコではメキシコの先住民族であるマヤ民族の中でも特に女性や子どもにフォーカスして、文化の保護と生活向上のサポートに取り組んでいます。

1. マヤ民族の現状について

マヤ民族は、ユカタン半島の先住民族で現在メキシコには97万人暮らしており*1、その中の多くが構造的貧困に陥りやすいと言われています*2。
以下は構造的貧困を構成する要素の一例です。



さらにマヤ民族の中でも、女性は識字率が低い傾向にあります*3。
Inegiの調査によると、マヤ民族が多く住むキンタナ・ロー州で文字が読めない人の割合は約10%でその内の六割は女性です。

1. Gobierno Mexico(2024) "Mayas: Pueblos indígenas"

2. Juan Carlos Mijangos-Noh Universidad Autónoma de Yucatán(2009) "Racism against the Mayan population in Yucatan, Mexico: How current education contradicts the law"

3. Jesus Caamal (2024) "Zona Maya de Quintana Roo: 9.9% de la población no saben leer, ni escribir"

2020

クラウドファンディングにより、「マヤ文化開発目標（MDGs）」を掲げ活動開始

2021

ECサイト「マヤメキシコ」で日本向け販売を開始

マヤ村オンラインツアーを開始

オンラインインター生の受け入れを開始

(株)HISと協業しSDGsツアーを開始

ドラコクラウドファンディング
総額764,650円達成

・季刊誌"エコツアーリズム"に掲載
・週間NY生活に掲載

2022

現地インターン生の受け入れを再開

大塚製薬様とタイアップ

Sandyael様のyoutubeに出演

2023

JNTOメキシコ様とタイアップ

TESORO様と協業

SDGsフェスへ出店

2024

日本旅行協会SDGs
アワード特別賞受賞

ケレタロ夏祭り出店

文化的、民族的マイノリティであることに加えジェンダーマイノリティである場合は、複合差別/交差的な差別（multiple/intersectional forms of discrimination）が生まれやすい傾向にあります。複合差別は近年国連文書などでも言及され顕在化してきましたが、複数の要因において社会的少数者である場合、それぞれの要素での社会的不利益が重なり合ってより解決の難しい状況に陥りやすいことを指します。マヤの女性達も例外ではないと考えられます。

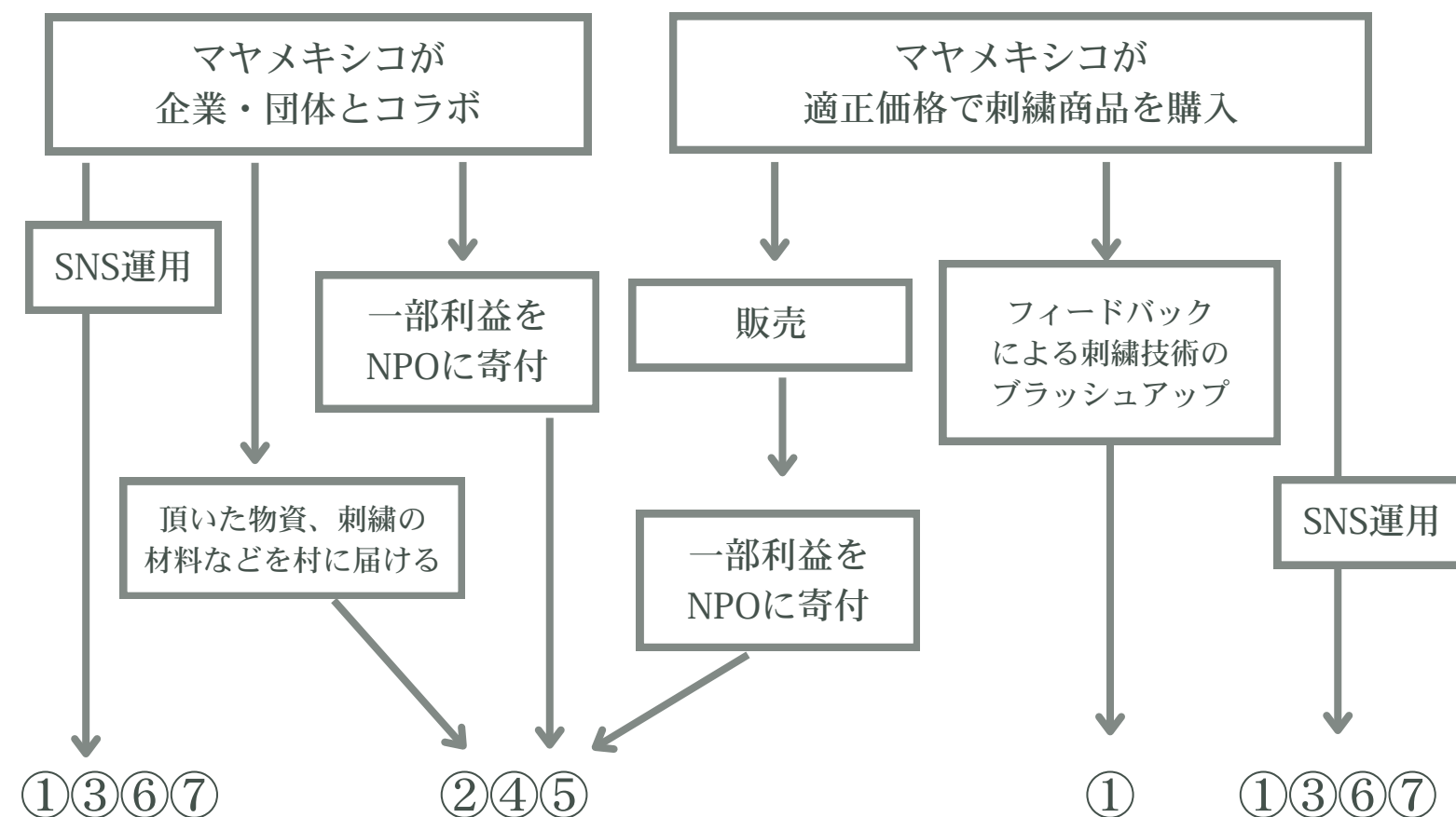
2. 問題を解決するためのアクション

マヤメキシコでは現地NPO法人「マヤ女性の尊厳を守る会」と協力しながら、MDGsという目標を設定し現状の問題の解決に向き合っています。

MDGs(マヤ開発目標)

1. マヤの歴史や文化を広めよう
2. マヤ集落に住む人々の識字率を向上
3. 日本とマヤの文化的な交流を広げていこう
4. 健康的な生活を確保しよう
5. 生活レベルの底上げをするために一緒に考えよう
6. マヤの自然への配慮と広報活動をしよう
7. 女性の社会的地位の向上を支持しよう

MDGs各項目への貢献



先ほどの図

村のインフラ不足 地方格差・経済格差
の再生産
適切な医療サービスに
アクセスができない
(スペイン語とマヤ語の)
言語的障壁
教育機会の喪失

女性であること

- 女性への教育は無駄であるという価値観の刷り込み
- 幼いうちから家族のケアをする義務

妊娠や家事労働により学校を中退する人が多い*4
→非識字者の増加
• 家庭内暴力の被害者となったときに経済的自立が果たせないため、離婚することができない
• 栄養や衛生について知らないまま退学することになる
→病気にかかりやすい、慢性的な体調不良

4.Adriana Leona Rosales Mendoza(2020)"Embarazo, Maternidad y Escolaridad en jóvenes mayas de José Morelos y Benito Juárez, Quintana Roo"



「マヤ女性の尊厳を守る会」 会長ラウラさんインタビュー

ラウラさんのNPO団体「マヤ女性の尊厳を守る会」（Asociación Pro-Dignificación de la mujer MAYA A.C.）について教えてください。

2008年に団体を立ち上げました。最初は7名の女性メンバーで活動を進めていましたが、現在3名が主となり活動を行っています。活動を実施する際にはボランティアメンバーもいるので、現在物資支援を手伝ってもらっています。また、村の皆さんに配布する品は、私が団体でどういった活動をしているのか知っている方たちが学用品、家庭用品、衣類等を提供してくださいます。時には、まったく面識のない方もわざわざもってきてくださいます。

団体の目的は、**教育や健康を支えるために、マヤの女性たちにとって生産的な事業を目指す**ということです。ここでいう“生産的な事業”とは、事業が終わったとあとも、彼女たち自らが持続して活動をおこなうことを指します。そのためには私たちが何かを与えるというのではなく、まずは教育や健康についての知識を伝え、女性たち自身が学んだことを続けることで、そこから自ら報酬を得ることができる。そうすることで、教育や健康と合わせて、より質の高く安定した生活を本人やその家族が手に入れることができます。

メキシコにおいてマヤ民族の女性が社会的に厳しい立場にいるように見えますが、その原因は为什么呢？

言語の面でいうと、30歳以上の女性たちの中には、スペイン語をしゃべれない人もいます。理解はできるが、話せないだけの人が多いです。

また、彼女たちのコミュニティでは、そもそも移動手段がないため高校に進学しません。その結果、中学までの教育を終えた女の子達ができることといたら、結婚して子どもを生むこと。**16歳前後で結婚して、その1年後には子どもがいる、という状況が生まれています。**こういった環境もあり、“女の子は結婚して家庭に入るのに、なぜ学校に？”という親の考えも存在します。本当は学校に通うための移動手段などの問題に気づいて、解決策を考える存在も必要ですよ。そうして女性は子どもの世話をしたり、料理を作って家のことをして過ごしますが、夫や男性たちは外に働きに出る、という生活を送っているのです。少なくとも私たちが活動を通して関わっている女性達は限られた社会環境の中にいます。私たちからすると、基本的に結婚も出産も早いと感じますが、それが村の住民にとっては当たり前の人生なんですよ。

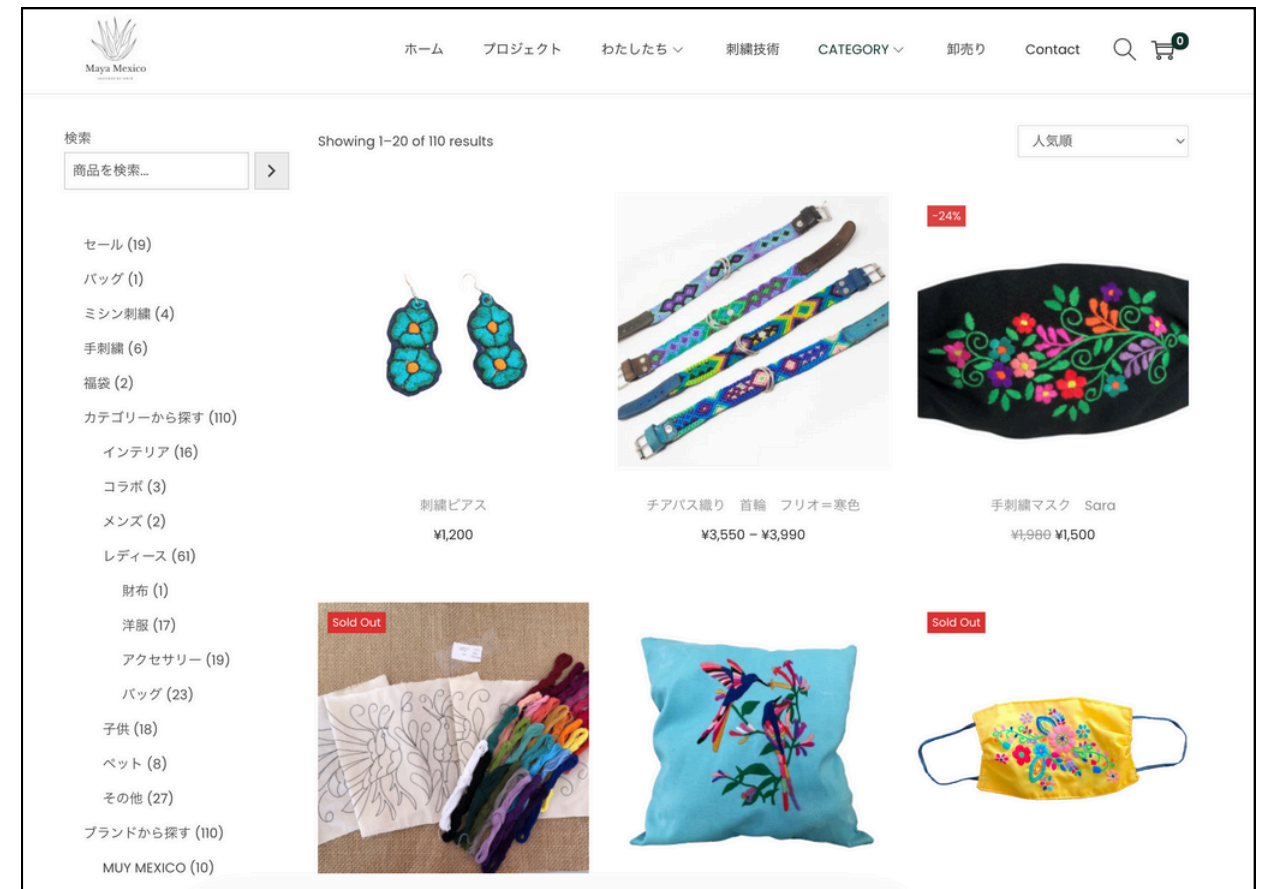
今後マヤの女性たちに必要なことはどんなことでしょうか？

十分な教育を受けた女性、それも**学んだことを通して、何をすべきなのか考え、それを家庭にも取り入れられる女性たち**です。彼女たちに学びのサポートをすることは、その家族を支えることにも繋がります。限られた環境にいる彼女たちは、基本的に村内や家の中で過ごしますが、常に子どもや家族のことを考えているので、必要な知識を得られれば、家族、そして村にも良い影響をもたらすことができると思います。

事業内容

1. 個人のお客様への販売

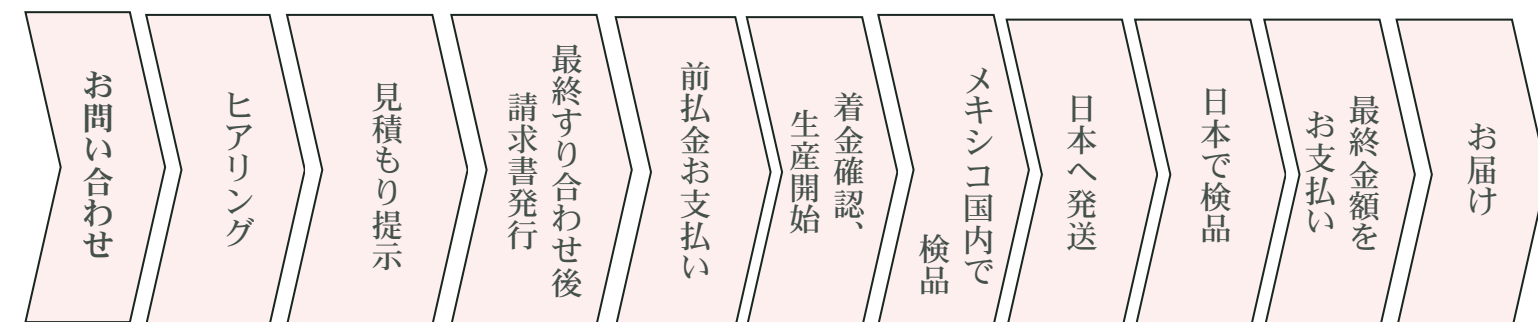
自社のECサイトを展開し、日本国内からも注文がお気軽にできるようになっています。



2. 卸売

日本国内の輸入雑貨店などに卸売業を行っております。オリジナル商品の発注も可能です。

流れの一例



3. 輸入雑貨店、レストランとのコラボ

ドクロ作家さんや輸入雑貨店さんとのコラボや、レストランのスタッフが使用するエプロンをオーダーいただきました。

事例

(1) ドクロ作家飯坂千亜希様



(2) メキシコ料理レストラン様のエプロン



(3) メキシコ雑貨店様とのコラボ商品



4. 企業様・公的機関とのコラボ

様々な企業様や、公的機関とコラボし、マヤメキシコの商品の販売や広報を行っています。

事例

(1) 株式会社HIS様

メキシコで催行されているツアーに、マヤメキシコの商品をお土産としてお渡ししていただくことで継続的な支援を目指しています。この取り組みは2024年度の日本旅行協会SDGsアワードを受賞いたしました。



(2) 大塚製薬様

マヤ村で刺繍したオリジナルバッグと、オリジナルのバッグチャームを作成し、数回のメキシコ国内イベントで、商品付属のノベルティーという形でご提供いただきました。



(3)YKKメキシコ様

商品制作に使用できる、企業様の商品を提供いただきました。刺繍製品の材料となる糸や布、ジッパーなどは村の外で買う必要があるのが非常に嬉しいご支援でした。

(4)JUKIメキシコ様

商品制作用のミシンをご提供いただきました。ミシンを持っているメンバーは多くないので、商品制作に大変役立っています。女性たちからは「作業効率が上がった」という声をきいています。



(5)JNTO(日本政府観光局)メキシコ様

日本政府観光局(JNTO)様主催、「JNTOメキシコ事務所開所一周年記念イベント」にて、マヤ村で作成した商品を、抽選でお客様へプレゼントしました。このイベントは、メキシコ人に向けた訪日プロモーションの一環として行われました。日本のデザインを取り入れた景品にマヤの刺繍を施すことで、日本の訪日促進をしながら、マヤ族への支援も行う機会となりました。



(6)シンクロニシティ研究会様

研究会様にはコロナ禍に始めたクラウドファンディングからご支援をいただいております。その後、マヤ暦についての講習会を定期開催していただきました。

その講習会の収益は、マヤの女性や子供支援へご寄付いただき、たくさんの会員様にもマヤについて知っていただく機会となりました。

5. イベント出店

メキシコ国内、日本国内両方でイベントへの出店を行っています。イベントに出店した際には、マヤメキシコの商品を紹介、販売すると同時にその環境や文化、現状をお伝えできるように努めています。

出店事例

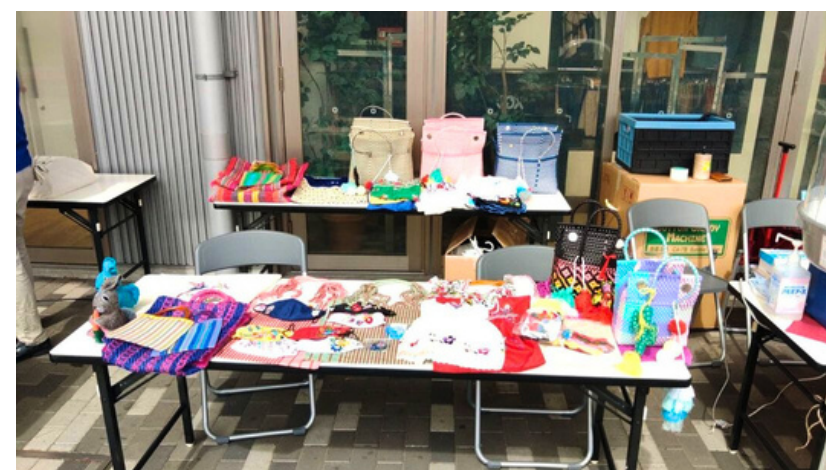
(1)2021/12 あるままフェス



(2)2022/9 北海道教育大学附属釧路義務教育学校高等課程学祭サンセットフェスティバル



(3)2022/9 SAKAI SDGs fest.@堺市



(4)2023/9, 2024/9 ケレタロ夏祭り



(5)2024/9 ツーリズムEXPOジャパン



6. オンラインセミナー、オンラインツアーの開催

メキシコ国外にお住まいの方にも、マヤメキシコやマヤ民族についてより現地にいるような感覚で知っていただけるように定期的にオンラインでのライブツアーやセミナーを開催しています。
また、これらで得られた収益の一部はマヤ村の方に還元しています。



7. SNS運用

特にInstagram、facebookにおいて定期的に発信をしています。

マヤメキシコの商品の紹介のみならず、マヤの商品が完成されるまでの過程をリアルタイムで発信することで、情報の透明化に努めています。

また、マヤの歴史やユカタン半島のスポットや文化について情報を投稿していくことで、より多くの方にリーチすることを目的としています。



様々な形でのサポーターを募集しています

1. 商品の購入

フェアトレード価格の商品を購入していただくことで、マヤの女性たちへの自立支援に繋がります。個人のお客様はECサイトから、卸売や企業様によるまとめたの購入はHPのフォームからお受けしております。

2. コラボ商品の受注

雑貨店様や企業様とコラボしオリジナルの商品を作成、受注していただくこともサポートに繋がります。アイデアの擦り合わせから、実際の商品作成までお時間はいただきますが、その分唯一無二の手仕事でできた商品をお届けすることが可能です。イベントなどで企業商品を配る際などにもぜひご活用ください。

3. 刺繍の材料や道具の寄贈、寄付

少額からでも寄付を受け付けております。また、刺繍に必要な材料やミシンなどの機械も村に足りていない現状もありますので、寄贈も大変助けになります。

お問い合わせ、ECサイトでの購入は以下のリンクから行なっていただけますと幸いです、

お問い合わせフォーム：<https://mexico-maya.com/contact/>

ECサイト：<https://mexico-maya.com/product-category/category/>

🔍 マヤメキシコ

おわりに

本冊子を手にとってくださり誠にありがとうございました。マヤ民族を取り巻く問題は非常に複雑ですが、だからと言って彼女たちが不幸に見えるわけではありません。伝統を継承し、自給自足を行い、家族を大事にして生活している様子を見ていると本当に素敵だなと思います。

そんな彼女たちが手仕事で作った作品を皆さまにも手に取っていただける日があれば幸いです。今後とも、マヤメキシコをよろしくお願いいたします。

編纂 井ノ上すみれ

